

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊員
市内に存在するたまごまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります

さて、今回の活動日記ですが、夏に
あつた出来事を一つ紹介させて頂きま
す。

八月に郡上市母袋（もだい）地区か
ら、郡上市の地域おこし支援隊として
活動されている隊員さんと、その受け
入れ団体である「母袋わくわく会」の
方々が視察にいらっしゃいました。山之
村の施設、産業移住に対する取り組み
を参考にしたいとのことで、総勢24名

の大所帯、しかも初の視察の受け入れ
ということで、緊張しながら臨みました。
当日は、私が案内人を務め、山之村
キャンプ場や山之村牧場、清水農園、下
林農園などを訪問しました。各場所で
普段の仕事内容等を説明して頂き、そ
れに対して母袋の方々が質問をして、
意見交換をしたりと、丸一日かけて山
之村を視察されました。

私もわらび粉のお話しをさせて頂
きましたが、地域の皆さんのご協力の
おかげもあり、母袋の方々にも大変満
足してもらえたようで、後日丁寧なお
礼状まで頂きました！本当にありがとうございました！

話は変わりまして、少し今後の活動
について（主にわらび粉関係で）紹介を
させて頂きます。

冒頭でも少し書かせて頂きました
が、今シーズンのワラビを掘るうとして
いる場所は、今春、地域の方にもお手伝
い頂き、火入れを実施した場所です。先
日ワラビ畑の様子を見に行つたところ、良い感じに上部が枯れていました！

飛騨市の皆様、こんにちは！

地域おこし協力隊の活動内容紹介
～続・ワラビ粉活動～

隊員 前原 融



（←畠の様子）



今このところ掘り返されたような跡
はありませんが、充分に警戒が必要な
のかなと感じている今日この頃です。
来年度以降も定期的に火入れを行つ
ていただきたいと考えていますが、ワラビ
畑を増やす事と守る事、両方しつかり
できるようにするにはまだまだ問題も
多く、やる事は山積みです…

いずれにせよ、今年度も（わらび粉生
産的には）一番アツい季節が始まりま
す！体調管理などをしっかりしつつ、生
産に取り組んで行きたいと思します。

秋も深まり、肌寒さを感じる季節にな
なってきましたね。この原稿を書かせて
頂いている十月からは、いよいよわ
らび粉の生産シーズンに入ります！前
回の記事でも紹介させてもらいました
が、今年度から火入れをしたワラビ畑
を掘ろうと思つてワクワクしながら準
備を進めております。